

ピック
アップ

くらよし国際交流 フェスティバル 開催!

平成 23 年 12 月 11 日 (日)



今年のテーマは「地球はひとつ☆みんなであつなく笑顔のWa」です!

毎年、鳥取県中部の国際交流や国際協力、多文化共生の推進、また地域住民の交流を目的に開催されてきました。

今年も、韓国やフランス・インドなどの世界の食べ物のコーナー。アメリカ・中国の伝統的なゲームで遊んだり、民族衣装の試着など世界の文化を見たり体験したりと大人から子供たちまで楽しめる内容の盛りだくさんなフェスティバルです。入場無料ですので、ぜひご家族・お友達とお誘いあわせの上、ご来場ください!!

日時：平成 23 年 12 月 11 日 (日)
10:00 ~ 15:00

場所：伯耆しあわせの郷
主催：くらよし国際交流フェスティバル実行委員会 2011
公益財団法人鳥取県国際交流財団

助成金

おすすめ! 助成金情報

環境 2012 年度公募 ~活動助成~ (一般財団法人 セブン-イレブン記念財団)

●対象事業

1. 自然環境の保護・保全活動：自然環境とは、特定の動植物種についてではなく、それらを取り巻く広範で多様性のある自然状態の環境を指し、都市公園などは含まない。
(1) 森林 (2) 里地里山、里海 (3) その他の自然環境
2. 野生動植物種の保護・保全：環境省または都道府県のレッドリスト絶滅危惧種 I・II 類・準絶滅危惧種に指定されている野生動植物の種、または生息・生育地の保護・保全活動（そのための外来種駆除を含む）。
3. 体験型環境学習活動：小学生から高校生を対象にした体験型環境学習活動（親子体験型環境学習を含む）体験を一時的に終わらせず、継続的に次世代につなげていこうとする活動で地域に根ざした明確な目的をもって行われる学習活動または、これらの学習活動指導員の育成活動。
4. 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動：地球温暖化・3R(リデュース・リユース・リサイクル)などの環境問題を生活の中から考え、解決していくことをテーマにした活動。
5. 植花活動：公共性の高い場所で、市民が主体となって企画し継続して行っている花や球根を植え・育てる活動※ただし、学校・庁舎などの敷地内、入場制限などがある場合、自然の生態系の保護を優先すべき地区における活動は対象外。

●対象者

- NPO法人または任意の環境市民団体。
- ※財団、社団、商店会、観光協会などは対象外。
- ※2011年度の「活動助成」助成先団体は対象外。
- ※2011年度の「緑化植化活動助成」「地域清掃活動助成」助成団体の申請は可能。

●助成金額 助成総額 5000万円

1団体あたりの助成額 上限なし。

助成団体数 総額内で決定。

●受付期間 平成 23 年 11 月 30 日 (水) 当日消印。

子ども

平成24年度“広がれ、元気っこ活動” — 児童・少年の健全育成助成 —

(公益財団法人 日本生命財団)

●対象事業

「子どもたち自身が主人公となり自然体験・生活体験活動仲間づくりや文化の伝承活動」等“元気っこ活動”や“地域の子育て支援活動”に取り組んでいる民間の団体・グループの事業（自然と親しむ活動・異年齢・異世代交流活動・子育て支援活動・療育支援活動・フリースクール活動）

●対象者

“元気っこ活動”や“地域の子育て支援活動”を、地域活動の一環として定期的かつ日常的に継続して取り組んでいる民間団体及びグループ

1. 助成申請時点 (H23/12) で設立後 1 年以上の活動実績があり常時 20 人以上の会員規模の団体
2. 構成員の半数以上が児童・少年である団体・「子育て支援活動」「療育支援活動」「フリースクール活動」については活動の 2. の要件を適用しない
3. 少なくとも月 1 回以上の子どもたちの定例活動日を定め継続して運営している団体
4. 活動の一環として、地域住民との交流機会やボランティア活動等を実践している団体
5. 助成により購入した物品を直接・継続的に活用し、管理しうる団体

●助成金額 1 団体あたり助成額 30 万円 ~ 60 万円

●受付期間 平成 23 年 11 月 30 日 (水) 必着 (必着)

講座
案内

『NPO法人会計講座』 開催しました!!

9月20日(木)にシビックセンターたからや2階会議室にて「NPO法人会計講座」を開催しました。ご参加頂いた方、ありがとうございます!

講師は山田梯次税理士事務所の原口太志先生をお招きしました!

現在NPO法人の会計を担当されているだけあってとても分かりやすく、参加者の皆様からの評判もよい講座となりました。

NPO法人のための会計講座は珍しく、開催される頻度も少なめです。基準が定まった今、今後も開催したい講座です。



『word2007でハガキ作成講座』 を開催します!

今年も開催! パソコン講座。年賀状投函までに間に合う12月9日(金)のお昼2時~4時に開催します。開催場所はパソコンも設置してある倉吉交流プラザ2階の情報交流室。参加が楽ちんです。

今年は文字だけでなく絵や写真入りのはがきを送りませんか?

クリスマスカードや年賀状だけでなく、活動のイベント案内や団体紹介用にオシャレなポストカード作りにも応用できます。

興味をお持ちの方は是非ご参加ください!

なお、15名と定員数が限られているため、ご参加される方は必ず事前申し込みをお願いします。

問合せ先: NPO法人未来: 0858-22-9791

参加
無料

今回は「え本の会『梟』」の代表：松田 和代（まつだ かずよ）さんにお話をききました。

団体
紹介

CAPSくらし 登録団体さんへ インタビュー!!!

～え本の会『梟』～



代表の松田さんです

代表者名	松田 和代(まつだ かずよ)
設立年月日	平成3年5月1日
住所	〒682-0861 倉吉市新町3-1178
電話番号	0858-22-0351
E-mail	kmatsuda@poem.ocn.ne.jp
URL	http://www.apionet.or.jp/fukuro/
活動内容	●乳幼児親子さんへ読み聞かせを通して、育児中のお母様方がリフレッシュし、育児不安を取り、楽しめる育児、親子のふれあいが出来たらと場所提供をしながらふれあいを行っています。 ●手遊び、リズム遊びの他、絵本作家を招き、交流を行っています。 ●読み聞かせサポーター、保育士、看護師、先輩ママのスタッフが笑顔でお待ちしています。 何でもおはなししましょう!

Q. 概要を教えてください！

A. 毎月第一木曜日にまつだ小児科医院の裏にあるRホールで乳幼児親子の皆さんとテーマに沿った絵本の読み聞かせ会を開催しています。そこでは絵本以外にもパネルシアターや手遊びなどもしています。来られたお母さんたちが「和んでくれたらいいな」「触れ合って楽しい場づくりになったらいいな」という思いで続けています。

そのほかには市立図書館の方の赤ちゃんのおはなし会、保育園や子育て支援センターからお声をかけていただいた際に講演やおはなし会を開いたり、成徳小学校で読み聞かせ、中学校へ授業で出向くこともあります。

Q. 活動を始めようと思ったきっかけは何ですか？

A. 当初、自分にも2歳前と3歳の子どもがいたんです。入園前の長男には一歩外に出れば、たくさんの子どもの年代の子どもとふれあえる事が出来たんですけど、二男の時には公園に行っても子どもがいない。今はそれぞれの保育園で集まる場があるんですけど昔はそういったことがなかったので、じゃあ自分から「会を募ろう」「人を集めよう」ということで、大好きな絵本を一つのキーワードに始めたのがきっかけです。そのころは倉吉に絵本の会がなかったので「これはいいことだ」として市立図書館の館長さんがポスターなども作ってくださって協力してくださりました。

二男の子育てが大きな目的だったんですが、自分が仕事をはなれても、自分にできるちっちゃな社会性を持ち続けたいなっていう意味合いもちょっと隠れていました。

会の名前を「梟（ふくろう）」とつけたのは大学時代の研究室の会報誌が「OWL（梟）」っていう名前前で、その会報誌に“Festina Lente”って書いてあったんです。「ゆっくり急げ」という言葉ですね。子育てをする時、「仕事から離れちゃうと何にもできなくなっちゃう」というさみしさもあって、じゃあその“Festina Lente”の精神を子育てに当てはめようって。焦って先回り教育しないで、でもほっておくんじゃなくて、刺激や体験をいっぱいさせる。そんな子育てをしようって意味合いも兼ねていました。

Q. どうして「え本」の「え」はひらがななんです？

A. こだわりなんですけど、ちっちゃい子が一番最初にひらがなを覚えるとき「え」は目に入りやすい。漢字よりひらがなのほうが目に入る、ただそれだけです。ホントかな？(笑)

Q. 子どもさんが大きくなって継続しているのは何のためですか？

A. お母さんたちとふれあい赤ちゃんからエネルギーをもらえることですね。絵本が好きだから絵本を共通の話題に会話ができることかなって思います。今までは自分の子どものためにしていた会だから、子どもが大きくなって、会の必要性がなくなっちゃう。でも、なおかつ続けていられるっていうのは子どもたちに慕ってもらえる喜びとか、絵本が好きだから少しでもその活動は離れたくないなという思いからですね。

Q. 活動をする上で信念とかお持ちですか？

A. 自分も一緒になって楽しむということですね。人のためだけの奉仕ではなくて、やっぱり自分も楽しめないと思ってしまうので、自分も楽しむということ。笑顔をもって触れる。接する。交流するっていうことですかね。笑顔のふれあいというか、心通うっていうかな。キーワードの「絵本」というのを通して接することによって、一緒に感動ができる。自分がグレードアップする気がするんです。

Q. 活動をしてきて良かったなと思ったところ

A. 「楽しかった!」「ありがとうございます!」「親子で絵本が大好きになりました!」って心から喜んでもらえる。どこかで会っても「ふくろうの先生!」って抱き着いてきてくれるとか、手を振ってくれるとか、そういうのがやっぱりうれしい瞬間ですね。

以前、幼稚園に入ってもこの第一木曜だけは幼稚園に行く前に出かけてくれた、うれしい子がいたんですよ。毎月、会のプログラムの中にお誕生日の子にメダルをかけるイベントが入っているんです。その役を責任感を持って行ってくれる。終わるとすぐ帰っていく。そういう子がいました。

又、普段はそっぽを向くような中学生さんが身をのり出して見聞きしてくれる態度に「絵本の力」を感じる瞬間です。そして我が子たちからは小さい時に楽しんでいた絵本の世界が大きくなった今でもふとした時状況に合わせて会話の中に飛び込んできて私を喜ばせてくれるんです。そんなときは心から絵本の出会いに感謝する嬉しい瞬間です。

Q. 今後の展望や夢は何ですか？

A. 今までおはなし会を組んで来て、自分も楽しめたし、来てくださった方にも喜んでもらったのを受けて、この間、作家さんと呼んで講演会をしたんです。またこれがすごく楽しいですね。一冊の本でも読み手が違くと伝わりも全然違うし、絵本だけを見ていてもわからないことが、作家さんと交流すると内面のものが本に現れるんだなって見えてくる。だから、作家さんも一緒になってのおはなし会をまた近いうちにしたと夢を持ちました。作家さんとの交流は今までもしてきたんですけど、自分一人だと予算などのことで難しいところもあります。

中部のボランティア団体や教育委員会さん、図書館さんが一緒になってする読書推進フォーラムができて3年になります。この実行委員会を通して他団体とのつながりを持ち、一緒にすることで大きな力を作り出し、生きるヒントや糧となる絵本の読み聞かせや絵本や読書の楽しみを見出し、伝え広めていくことですか。

Q. 作家さんと呼ぶのに何かルールがありますか？

A. 最初はとにかく「いわむらかずお」さんがとにかく好きだったので、頑張ってお呼びしましたね。その後は会に来て下さっているお母さんと「梟」のHPの掲示板で「次の作家交流に、きむらだいすけさんをお呼びたい」と話したら作家さんから「いくよ」とコメントが(笑)すごい偶然で、夢のような話なんですけど、そこから知り合いの方へと繋がっていきました。当時は考えられなかったけど、娘の通う小学校でワークショップをしてもらったり一緒に絵本を読んでもらうって事も出来るようになりました。それもやっぱりきっかけは来てくれているお母さん達がそういう声を出してくれたこと。作家さんとのつながりもお母さんたちから始まっている。これも輪なんだなって思っています。

インタビューに快く答えていただきありがとうございます!!



作家さんと一緒に交流中♪

イベント 11月・12月イベント情報

●NPO 法人会計基準学習会 in 米子

- ★日時：11月24日（木）午後7時00～午後9時00分
- ★場所：米子コンベンションセンター5階
- ★問合せ先：NPO 法人こども未来ネットワーク NPO サポート室
TEL: 0859-21-5500

●福祉学習サポーター講座【入門編】

- ★日時：11月18日（金）午後1時30～午後4時30分
- ★場所：米子市福祉保健総合センターふれあいの里4階 中会議室
- ★問合せ先：鳥取県社会福祉協議会
TEL: 0857-59-6332

●2011 市民活動フェスタ in とっとり～つながろう市民活動の輪 届けよう元気!!～

- ★日時：12月4日（日）午後1時00分～午後4時30分
- ★場所：さざんか会館・高齢者福祉センター
- ★問合せ先：2011 市民活動フェスタ実行委員会事務局
TEL: 0857-29-2228



〒682-0881
鳥取県倉吉市宮川町188-9
シビックセンターたからや1階
NPO 法人未来事務局内
TEL: 0858-22-9791
FAX: 0858-22-8999
E-mail: caps-k@npo-mirai.net
HP: http://www.npo-mirai.net/caps/
登録団体募集中! 無料で登録できます!!
横断幕の印刷や多種多様な会議用機材の貸し出しサービスを利用してちょっとランクアップした活動が出来るかも。
詳細は上記連絡先へお問合わせ下さい。